

中宮展示館周辺で観察された鳥類の記録

平 松 新 一 石川県白山自然保護センター
南 出 洋 石川県白山自然保護センター
安 田 雅 美 石川県白山自然保護センター

The records of the birds observed around the Chugu Exhibition Hall.

Shin-ichi HIRAMATSU, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*
Hiroshi MINAMIDE, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*
Masami ANDA, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*

はじめに

中宮展示館は、白山市中宮の白山白川郷ホワイトロード石川県側ゲート手前、標高約600mの位置にある。展示館正面には蛇谷川が流れ、周辺の自然観察路にはミズナラやオニグルミなどを初めとする落葉広葉樹林が広がり、そこにはさまざまな動物が生息している。

しかしながら、中宮展示館周辺の生物に関しては、平松ら (2015) によるチョウ類種類相についての報告がある程度で、それ以外の分類群では十分な記録がない。そこで、ここでは比較的観察記録が整理されている鳥類について、直近5年間の記録をまとめたので報告する。

本報告にあたり、白山自然保護センター元職員として当時の観察を行った加波憲次氏、増田美咲氏、中宮展示館でガイド活動を行い、動植物に関する多くの情報を提供していただいた白山自然ガイドボランティアの諸氏に深くお礼を申し上げる。

観察地と記録方法

観察地域は中宮展示館裏の蛇谷自然観察路及び展示館前の蛇谷園地である。中宮展示館職員はこの地域で観察された鳥類を中宮展示館業務日誌に記録している。この日誌に書かれた種類、観察日、観察内容(目視、さえずり、地鳴き)に関する記録をまとめ付表1から5に示した。記録は比較的整理されている2011年から2015年のものを用いた。

観察期間は各年とも中宮展示館の開館期間中の毎

日である。展示館開館期間は原則5月1日から11月10日までであるが、積雪や白山白川郷ホワイトロード無料区間の供用開始および終了時期との兼ね合いもあり、毎年数日前後する。

観察は天候や日常業務等の事情で、必ずしも毎日同じ場所で行うことはなかった。記録の中には明らかに誤った記載と考えられるものがあり、これらの記録については除外した。

結果と考察

5年間の観察で48種の鳥類が記録された(表1)。林(2008)は、白山地域で約100種の鳥が生息すると述べており、石川県(1998)では、126種を白山の鳥類としてリストアップしており、本記録はこれらの半分以下だった。

確認できた種のうち、留鳥は27種(全体の56%)、夏鳥は19種(40%)、冬鳥は2種(4%)だった。石川県全体ではこれまでに430種の野鳥が記録されており、このうち留鳥は66種(15%)、夏鳥56種(23%)、冬鳥95種(23%)で、187種(49%)が旅鳥または迷鳥だった(石川県, 2009)。

今回の記録は石川県(2009)の記録に比べて旅鳥・迷鳥および冬鳥の割合が低く、留鳥、夏鳥の割合が高い(図1)。特に、旅鳥・迷鳥は中宮では記録されていないが、石川県では全体の約半数を占めている。これは、能登半島沖に位置する舳倉島が渡り鳥の一大中継地となっており、そこで数多くの迷鳥や旅鳥が記録されているためである(石川県, 1998)。白山地域でもこれまでにヤツガシラやノビタキなど

表1 中宮展示館周辺で記録された鳥類 (2011年～2015年)

目	科	種	学名	観察時期	生息環境	RDB国	RDB県	記録年						
								2011	2012	2013	2014	2015		
キジ目	キジ科	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>	年	山		準	○	○		○			
ハト目	ハト科	アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	夏	山			○	○	○	○	○		
		キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	年	平・山			○		○	○	○		
ペリカン目	サギ科	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	年	水・平					○		○		
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i>	夏	山							○	○	
		ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	夏	山			○	○	○	○	○	○	
		ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	夏	山			○	○	○	○	○	○	
		カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	夏	平・山			○					○	
アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	<i>Aptus pacificus</i>	夏	平・山						○	○	○	
タカ目	タカ科	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	夏	平	準	準					○	○	
		トビ	<i>Milvus migrans</i>	年	平・山							○	○	○
		サシバ	<i>Butastur indicus</i>	夏	平	II	II					○	○	○
		イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i>	年	山・高	I B	I			○	○	○	○	○
		クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	年	山	I B	I						○	
ブッポウソウ目	カワセミ科	アカシヨウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	夏	山		II	○	○	○	○	○		
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	夏	平・山			○	○	○	○	○	○	
		アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	夏	山			○	○			○	○	
		アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	夏	平・山			○	○	○	○	○	○	
スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericocotus divaricatus</i>	夏	山	II	準			○		○		
	モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	年	平・山					○				
	ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	夏	平						○			○
		イワツバメ	<i>Delichon dasyopus</i>	夏	平・山				○			○	○	○
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	年	平・山			○	○	○	○	○	○	
	ウグイス科	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	年	平・山			○	○	○	○	○	○	
	エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	年	平・山			○				○	○	
	ムシクイ科	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	夏	山							○	○	
	カラス科	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	年	平・山				○	○	○	○	○	○
		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	年	平・山				○	○	○	○	○	○
	シジュウカラ科	コガラ	<i>Poecile montanus</i>	年	山				○	○	○	○	○	○
		ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	年	平・山				○	○	○	○	○	○
		ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	年	平・山				○		○	○	○	○
		シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	年	平・山				○	○	○	○	○	○
	メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	年	平・山					○	○	○	○	
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>	年	山			○	○			○	○	
	キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	年	山							○		
	ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	年	山								○	
	カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>	年	山					○	○	○	○	
	ヒタキ科	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	年	平・山						○		○	○
クロツグミ		<i>Turdus cardis</i>	夏	平・山							○			
ジョウビタキ		<i>Phoenicurus auroreus</i>	冬	平									○	
セキレイ科	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	夏	平・山				○	○			○	○	
	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	夏	平・山				○	○	○	○	○	○	
	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	年	平・山				○	○			○	○	
アトリ科	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	年	平・山					○			○		
	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	冬	平・山				○			○	○	○	
ホオジロ科	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	年	平							○		○	
	イカル	<i>Eophona personata</i>	年	平・山							○	○	○	
		ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	年	平・山			○	○	○	○	○	○	

観察時期 年：年間を通じて観察される 夏：主に夏季に観察される 冬：主に冬季に観察される
 生息環境 水：主に潟、湖沼、河川などに生息 平：主に平野部、里山などに生息 山：主に山地帯に生息
 高：主に亜高山帯、高山帯に生息

I：絶滅危惧I類 IB：絶滅危惧IB類 II：絶滅危惧II類 準：準絶滅危惧 不足：情報不足

*観察時期、生息環境は石川県(1998)、RDB国は環境省(2014)、RDB県は石川県(2009)に基づく。

の旅鳥，シラオネツタイチョウやヤイロチョウなどの迷鳥の記録がある（林，2008）が，これらは今回の記録には含まれていなかった。

この5年間に中宮で観察された冬鳥はジョウビタキとアトリの2種類だけだった。ジョウビタキは2015年11月14日に1回，アトリは2011，2013，2014，2015年の10月中旬から11月中旬までに12回，いずれも冬鳥の飛来初期に観察された。中宮でこの

ように冬鳥の記録が少ないのは，中宮展示館が冬季閉館するためで，実際に生息する冬鳥はより多いと考えられる。

このように中宮では旅鳥，迷鳥および冬鳥が少なかったため，その結果，相対的に留鳥と夏鳥の割合が高くなった（図1）。

記録された種の生息環境も中宮と石川県では大きく異なっていた（図2）。山地帯を含んだ環境に生

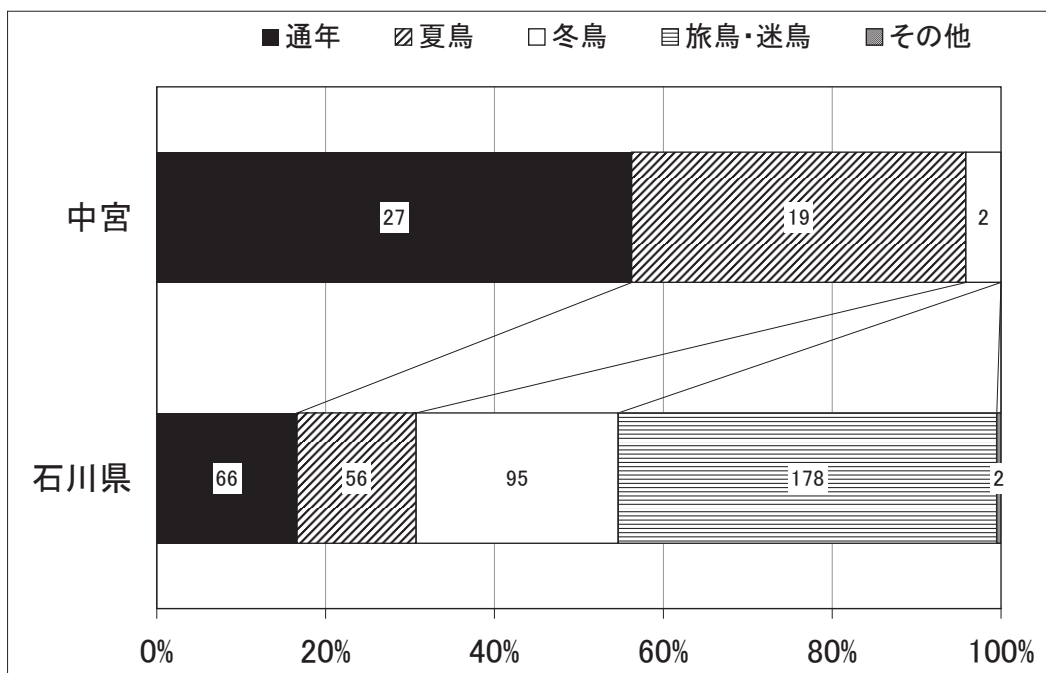


図1 中宮と石川県で記録された鳥類の観察時期

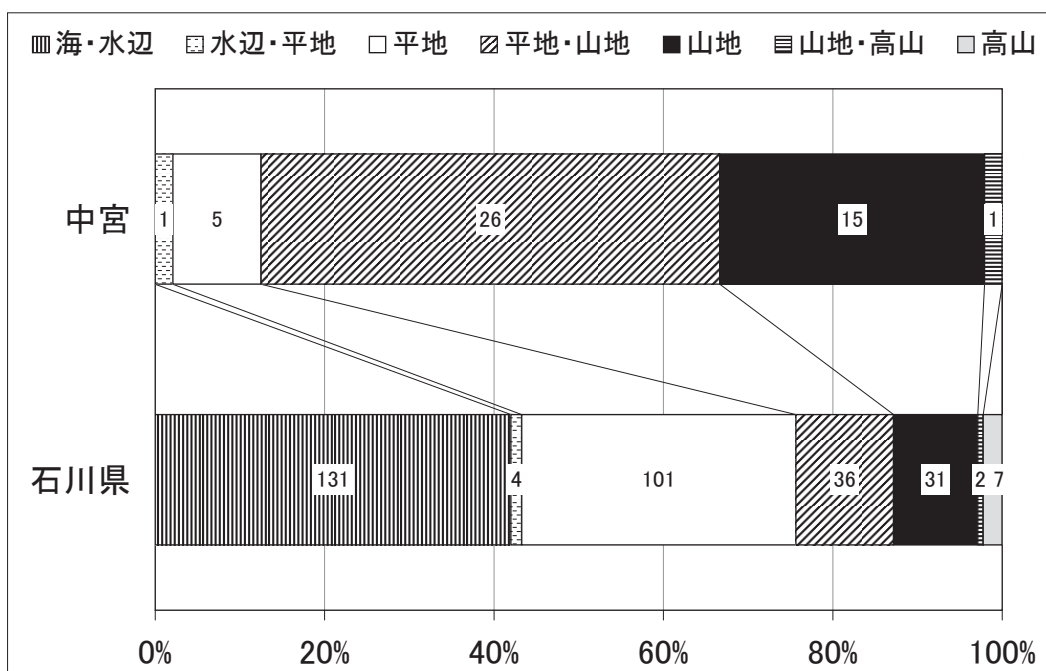


図2 中宮と石川県で記録された鳥類の生息環境

息する種は中宮では42種で全体の88%を占めていたのに対して、石川県では79種で25%、また、水辺や海に生息する種は中宮では1種で全体の2%だったのに対して、石川県では135種で43%に達していた(図2)。これは、中宮が山地帯に位置しており、かつ周囲に池や水辺が少ないためである。

今回確認された鳥類のうち、レッドデータブック2014(環境省, 2014)に記載されているのは5種、石川レッドデータブック動物編2009(石川県, 2009)に記載されているのは8種だった。このうち、イヌワシとクマタカは環境省では絶滅危惧IB類、石川県では同I類と極めて希少性が高い種であるが、両種とも白山地域では繁殖が確認されており(石川県, 1998)、中宮でも両種が上空を飛ぶ姿を観察している。さらに、イヌワシについては2014年に幼鳥の姿も観察された。アカショウビンについても、環境省、石川県ともに準絶滅危惧種となっているが、

中宮では毎年さえずりが記録されている。

次に、さえずりの記録日数が多かった上位5種(ウグイス、ツツドリ、ホオジロ、ホトトギス、アカショウビン)について、さえずりの聞こえた時期を図3に示した。いずれの種も春から夏にかけてさえずりが多く記録されている。このうち、ウグイスは例年4月下旬から5月上旬にかけてさえずりが始まり、8月上旬までさえずりが記録されていた。ツツドリは5月中旬から7月上旬まで、ホトトギス、アカショウビンは5月中旬から7月中旬までさえずりが記録され、少しずつ時期が異なっていた。一方、ホオジロのさえずりの時期は年によってかなりばらつきがあり、11月にもさえずりが聞かれることもあった。

このように、中宮で記録された鳥類は、旅鳥、迷鳥および冬鳥が少ないこと、水辺中心に生活する種類が少ないこと、イヌワシ、クマタカやアカショウ

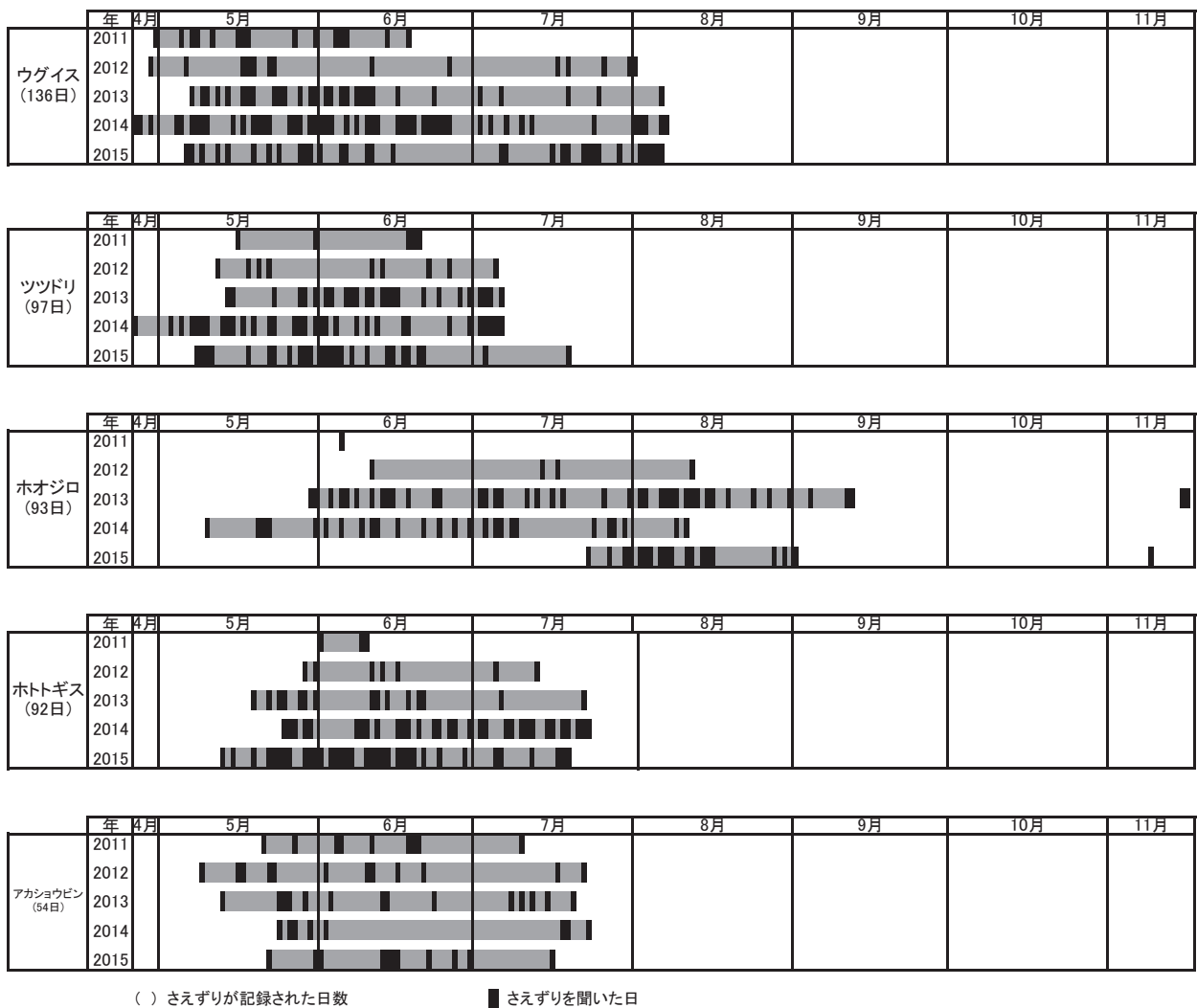


図3 さえずり上位5種の記録時期

ビンなど、希少な種が生息していることなど、いくつかの特徴があった。

今後は鳥類だけでなく、脊椎動物、昆虫、植物など、中宮の生物記録をさらに整理して、白山の生物相解明の一助としたい。

引用文献

林 哲 (2008) 白山の自然誌 28 白山の鳥たち. 石川県白山自然保護センター, 石川, 20pp.
石川県 (1998) 石川県の鳥類. 日本野鳥の会石川支部編,

石川県環境安全部自然保護課, 石川, 183pp.
石川県 (2009) 改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物<動物編>2009. Homepage (http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/reddata/rdb_2009/index.html) (2016年3月10日現在)
環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (2014) レッドデータブック2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-2 鳥類. ぎょうせい, 東京, 250pp.
平松新一・南出 洋・安田雅美 (2015) 中宮展示館周辺で確認されたチョウ類. 石川県白山自然保護センター研究報告41: 9-16

